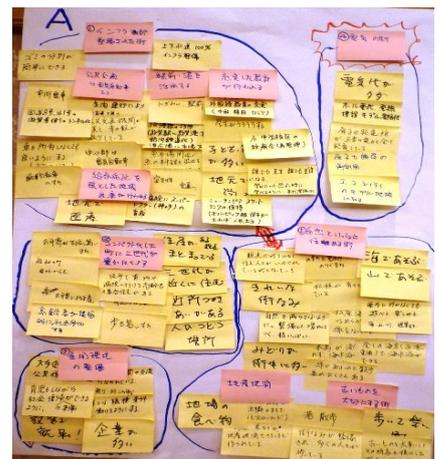
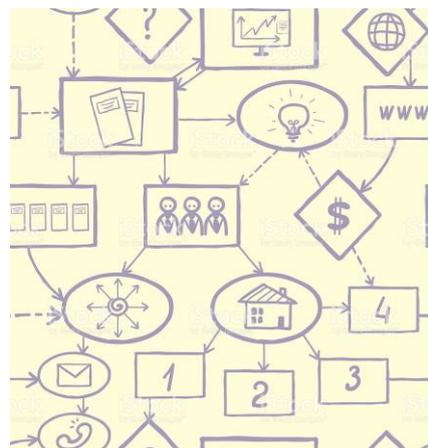


『北馬城小学校の新生を増やすには』についてブレスト第二弾 「北九州や大分地区で働く人も定住できる(宇佐駅の効用) 若者向け居住地整備をするにはどのような方法があるか」

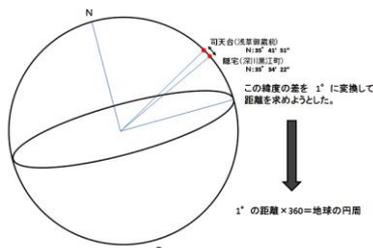
平成29年2月14日 北馬城地区まちづくり協議会役員会で矢口岩崎区長主宰による第2弾ブレスト（標記のテーマで）が行われた。冒頭に矢口区長により前回のブレストのまとめとして、『北馬城地区に小学生を持つ若者を定住させるには「魅力ある北馬城のブランド化と北九州や大分地区で働く人も定住できる(宇佐駅の効用)定住者に向けた居住地整備」を両輪とするまちづくりが急務である』が報告され、全役員による承認を確認してから、今回は標記テーマで前回同様出席した役員が輪番で自分の考えを言い、発言された意見はカードに記録され、関連性のあるものはまとめられ、グルーピングして、結論を導き出す KJ 法という手法を活用されます。現在矢口区長が取りまとめをしている所です。この問題はこれからのまちづくりの中でも大きな課題であり、役員は真剣に考え、熱心に意見を出していました。結論が出次第、対策を検討していきます。

ブレインストーミング



第1回北馬城の歴史を学ぶ会記念講演開催

1月22日、大分県立歴史博物館主任研究員 村上博秋先生を招き『伊能忠敬、北馬城を測る』をテーマに記念講演を開催しました。①功績は全国を実際に測量して、その成果をもとに精巧な日本地図を製図したことであり、科学的なものであったこと。②測量は基本的には道線法と交会法の2つの方法を組み合わせ、測量器具の改良や天文学の導入など、測量精度を高める努力をした。とのこと。最後に北馬城のルートを辿ってみると見慣れた風景に懐かしさと驚きとで感動を覚えました。



裏面へ

先進地視察研修会に 64 名参加

2月17日郷づくり協議会を立上げ10年を経過し、大きな成果を上げている宮司地区郷づくり協議会の視察に行った。宮司地区郷づくり協議会では大勢の役員に迎えられ、会長からは協議会の経緯、各部長より活動報告を受け、その後の質疑応答では大幅に時間をオーバーするほど、意欲的な意見交換となりました。出発後午前中は天気ははっきりしない中をバス2台で総勢63名は和気藹々、宇佐市クイズに興じながら隣人との交流を深め、午後からは宮地嶽神社、宗像大社にお参りし、北馬城まちづくり協議会の今後の発展を祈願しました。全工程、予定通りに進行し、無事終了しました。宮地嶽神社のしめ縄は大きいのに感動！地域の人々との結びつきが深いんだな〜と。 - - - -。



クイズで盛り上がり和気藹々



開場全景



説明を受ける視察団



両会長と副会長・事務局長

地域コミュニティ研修会に参加

平成28年度第2回地域コミュニティ研修会が宇佐市地域交流ステーション（旧深見中学校）で開催され大分大学生の体験発表を交えた研修会が行われた。メンバーは大分大学経済学部と地域まちづくりの役員が出席し、それぞれの体験や困っている事について報告があった。他地区まちづくりメンバーとの交流ができ、参考意見が聞ける良い機会だった。

お知らせ

第2回北馬城の歴史を学ぶ会学習会を3月中旬開催

1. 日時 平成29年3月中旬(後日連絡)
2. 場所 宇佐市東ふれあい館
3. 講師 大分県立先哲資料館主任研究員 櫻井先生
4. 学習内容 江戸末期から明治初期にかけての北馬城等(仮題)